



矢作川CNプロジェクトは、SDGsの「11 住み続けられるまちづくりを」「13 気候変動に具体的な対策を」始め8項目に資する取組です。

2023年7月7日（金）

愛知県建設局河川課

改修グループ

担当 長江、柴田

内線 2726、2728

ダイヤル 052-954-6554

愛知県建設局土木部建設企画課

土木技術グループ

担当 山崎、金島

内線 2891、2589

ダイヤル 052-954-6507

県内初！低炭素型コンクリートブロック活用試行工事を実施します ～矢作川CN（カーボンニュートラル）プロジェクト～

愛知県では、矢作川流域をモデルケースとし、“水循環”をキーワードに、再生可能エネルギー等の導入による国土強靱化を始め、森林保全・治水・水道からエネルギーまでを含めた、官民連携で総合的かつ分野横断的にカーボンニュートラルの実現を目指す矢作川CNプロジェクトを推進しています。

このプロジェクトの施策の一つである「建設業におけるCO₂排出量削減」の取組として、県内の公共工事で初めて、低炭素型コンクリートブロックを活用する試行工事を下記のとおり実施します。

試行工事の実施結果を踏まえ、低炭素型コンクリートブロック活用工事の拡大について検討していきます。

記

1 工事名

(1) 中小河川改良工事（低炭素コンクリート使用）（1号工）

(2) 中小河川改良工事（低炭素コンクリート使用）（2号工）

※工事名は一部省略しています。

2 工事場所

一級河川矢作川水系乙川（岡崎市大平町、大西町）

3 工事概要

護岸工事

(1) 低炭素型積ブロック 約880m²

(2) 低炭素型ブロックマット 約4,100m²

※2工事合計の使用予定数量

(参考1) 矢作川CNプロジェクトについて

以下のWEBページを御覧ください。

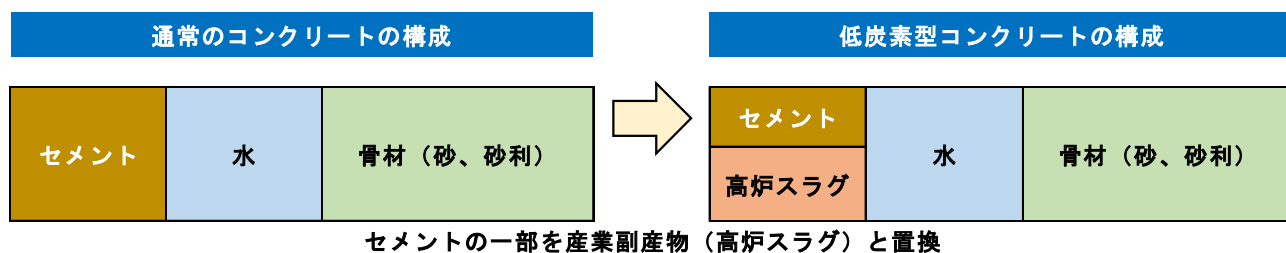
<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kasen/cn-top.html>



(参考2) 低炭素型コンクリートブロックについて

コンクリートの材料であるセメントの製造過程で石灰を焼成する際にCO₂を多く排出することから、セメントの一部を高炉スラグ等の産業副産物に置き換えることで、CO₂排出量を低減できるとともに、産業副産物のリサイクルも進みます。これまでも、現場打ちコンクリートではセメントの40～45パーセントを産業副産物に置き換えたコンクリート（高炉セメントB種）が一般に流通していますが、コンクリートブロックなどの二次製品の低炭素化の取組は全国でもあまり例がありません。

今回の工事では、セメントの55パーセント以上を高炉スラグに置き換えた製品を使用します。



(参考3) 使用するブロックのイメージ



2022年度に実施した護岸工事現場（通常製品を使用）

※積ブロック：傾斜が急な護岸に使用、ブロックマット：傾斜が緩やかな護岸に使用